

CASBEE-新築(簡易版)2010年版 明和ゴム工業株式会社 京都生産技術センター建設工事				■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版) 2011 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.2)						
スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数					
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 騒音										
1 室内騒音レベル										
2 設備騒音対策										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温										
2 負荷変動・追従制御性										
3 外皮性能										
4 ゾーン別制御性										
5 温度・湿度制御										
6 個別制御										
7 時間外空調に対する配慮										
8 監視システム										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
1 昼光率										
2 方位別開口										
3 昼光利用設備										
3.2 グレア対策										
1 照明器具のグレア										
2 昼光制御										
3 焼り込み対策										
3.3 照度										
3.4 照明制御										
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質										
2 アヘンペスト対策										
3 タバコ・カビ等										
4 レジオノラ対策										
4.2 換気										
1 換気量										
2 自然換気性能										
3 取り入れ外気への配慮										
4 給気計画										
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視										
2 嘸煙の制御										
Q2 サービス性能		建物外にて喫煙スペースを確保している。				-	0.30	-	-	3.2
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応										
3 バリアフリー計画										
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観										
2 リフレッシュスペース										
3 内装計画										
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計										
2 維持管理用機能の確保										
3 卫生管理業務										
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震										
1 耐震性										
2 免震・制振性能										
2.2 部品・部材の耐用年数										
1 車体材料の耐用年数										
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔										
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔										
4 空調換気ダクトの更新必要間隔										
5 空調・給排水配管の更新必要間隔										
6 主要設備機器の更新必要間隔										

2.4 信頼性	1 空調・換気設備	3.0	0.19	-	-
	2 給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-
	3 電気設備	3.0	0.20	-	-
	4 機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-
	5 通信・情報設備	3.0	0.20	-	-
	3 対応性・更新性	3.1	0.29	-	3.1
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	3.6	0.31	-	-
	2 空間の形状・自由さ	4.0	0.60	3.0	-
	3.2 荷重のゆとり	3.0	0.40	3.0	-
	3.3 設備の更新性	3.0	0.31	3.0	-
	1 空調配管の更新性	3.0	0.38	-	-
	2 給排水管の更新性	3.0	0.17	-	-
Q3 室外環境(敷地内)	3 電気配線の更新性	3.0	0.17	-	-
	4 通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-
	5 設備機器の更新性	3.0	0.11	-	-
	6 バックアップスペース	3.0	0.22	-	-
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	0.50	-	-
	3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性		-	0.38	-	3.1
LR1 エネルギー		-	0.40	-	3.5
1 建築物の熱負荷抑制	1 生物環境の保全と創出	3.0	0.30	-	3.0
	2 まちなみ・景観への配慮	4.0	0.40	-	4.0
	3 地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.30	-	2.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	0.50	-	-
	3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-
	4 効率的運用	3.0	0.27	-	3.0
2 自然エネルギー利用	4.1 モニタリング	3.0	0.50	-	-
	4.2 運用管理体制	3.0	0.50	-	-
	2.1 自然エネルギーの直接利用	3.0	0.27	-	3.0
	2.2 自然エネルギーの変換利用	3.0	0.50	-	-
	3 設備システムの高効率化	4.5	0.41	-	4.5
	3a 集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	4.5	-	-	-
3a 集合住宅の評価	3b 集合住宅の評価	3.0	-	-	-
	4 効率的運用	3.0	0.27	-	-
	4.1 モニタリング	3.0	0.50	-	-
	4.2 運用管理体制	3.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	2.7
1 水資源保護	1 水資源保護	3.0	0.15	-	3.0
	1.1 節水	3.0	0.40	-	-
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60	-	-
	1 雨水利用システム導入の有無	3.0	0.67	-	-
	2 雜排水等利用システム導入の有無	3.0	0.33	-	-
	2 非再生性資源の使用量削減	2.6	0.63	-	2.6
2.1 材料使用量の削減	2.1 材料使用量の削減	3.0	0.07	-	-
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.24	-	-
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-
	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.20	-	-
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.05	-	-
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	3.0	0.24	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避	3 污染物質含有材料の使用回避	3.2	0.22	-	3.2
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.32	-	-
	3.2 フロン・ハロンの回避	3.3	0.68	-	-
	1 消火剤	4.0	0.33	-	-
	2 発泡剤(断熱材等)	3.0	0.33	-	-
	3 冷媒	3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	3.1
1 地球温暖化への配慮	1 地球温暖化への配慮	3.4	0.33	-	3.4
	2 地域環境への配慮	3.0	0.33	-	-
	2.1 大気汚染防止	3.0	0.25	-	-
	2.2 温熱環境悪化の改善	3.0	0.50	-	-
	2.3 地域インフラへの負荷抑制	3.0	0.25	-	-
	1 雨水排水負荷低減	3.0	0.33	-	-
3 周辺環境への配慮	2 汚水処理負荷抑制	4.0	0.33	-	-
	3 交通負荷抑制	2.0	0.33	-	-
	4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.33	-	-
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40	-	-
	1 騒音	3.0	0.33	-	-
	2 振動	3.0	0.33	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制	3 悪臭	3.0	0.33	-	-
	1 風害の抑制	3.0	0.40	-	-
	2 砂塵の抑制	3.0	0.70	-	-
	3 日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-
	3.3 光害の抑制	3.0	0.20	-	-
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70	-	-
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-